

発がん原性試験の試験結果、対応状況等

平成27年3月19日現在

報告年度		吸入試験		経口投与試験	
		対象化学物質名	試験結果、対応状況等	対象化学物質名	試験結果、対応状況等
昭和62	1987	四塩化炭素	H3指針公示、H17改正		
昭和63	1988			m-フェニレンジアミン・ニ塩酸塩(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成元	1989	メチルプロミド(臭化メチル)	ラット、マウスともに発がん性なし		
平成2	1990			1, 4-ジオキサン(混水)	H4指針公示、H17改正
平成3	1991	1, 2-ジクロロエタン	H5指針公示、H17改正	p-クロロニトロベンゼン(パラニトロクロロベンゼン)(混水)	H5指針公示、H17改正
平成4	1992	テトラクロロエチレン(パークロロエチレン)	H7指針公示、H17改正	1-クロロ-2, 4-ジニトロベンゼン(混水)	ラットの雌雄に対する発がん性示唆
平成5	1993	クロロホルム	H7指針公示、H17改正		
平成6	1994			β-クロロプロピオン酸(3-クロロプロピオン酸)(混水)	ラットの雌に対する発がん性示唆
平成7	1995	p-ジクロロベンゼン	H8指針公示、H17改正	酢酸ビニル(混水)	H8指針公示、H17改正
平成8	1996	1, 1, 1-トリクロロエタン	H8指針公示、H17改正	ビフェニル(混水)	H8指針公示、H17改正
平成9	1997	塩化メチル(クロロメタン)	ラットおよびマウスに対するがん原性を証明するための証拠としては不十分	1, 3, 5, 7-テトラアザトリシクロ(3, 3, 1, 1 ^{3,7})デカン(ウロトロピン、ヘキサメチレンテトラミン)(混水)	マウスの雌に対する発がん性示唆
平成10	1998	メタリルクロライド(3-クロロ-2-メチル-1-プロペン)	ラットの雄に対するがん原性の不確実な証拠、雌に対するがん原性なし。マウスの雌雄に対するがん原性示唆。	アントラセン(混水)	H13指針公示、H17改正
平成11	1999	ジクロロメタン(二塩化メチレン)	H13指針公示、H17改正		
平成12	2000	N, N-ジメチルホルムアミド	H17指針公示	グリオキサール(混水)	ラットの雌に対するがん原性の可能性を示唆するものの不確実な証拠
		2-ブテナール(クロトンアルデヒド)	H17指針公示	ヒドラジン-水化物(混水)	H17指針公示
平成14	2002	2, 3-エポキシ-1-プロパノール(グリンドール)	H17指針公示	キノリン(1-アザナフタレン)(混水)	H17指針公示
				1, 4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン(混水)	H17指針公示
平成15	2003	アリルクロリド(塩化アリル)	H23指針公示、H24改正	アクリル酸=2-ヒドロキシエチル(混水)	ラットでは、雄に対するがん原性示唆、対するがん原性の不確実な証拠。マウスに対するがん原性なし。
		シクロヘキセン	ラット、マウスともに発がん性なし	o-フェニレンジアミンニ塩酸塩(混水)	H23指針公示、H24改正
				p-ニトロアニソール(混水)(パラメトキシニトロベンゼン、1-メトキシ-4-ニトロベンゼン)	H23指針公示、H24改正
平成16	2004	1-ブロモ-3-クロロプロパン	H23指針公示、H24改正	2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン(混水)	H23指針公示、H24改正
平成17	2005	ノルマル-ブチル-2, 3-エポキシプロピルエーテル	H23指針公示、H24改正	アセト酢酸メチル(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
		1, 2-ジクロロプロパン	H23指針公示、H24改正		
平成18	2006	プロピオニトリル	ラット、マウスともに発がん性なし	オルト-クロロニトロベンゼン(1-クロロ-2-ニトロベンゼン)(混水)	H23指針公示、H24改正
平成19	2007	1-ブロモブタン(臭化ブチル)	H24指針公示	2-フェノキシエタノール(エチレンジグリコールモノフェニルエーテル)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成20	2008	酢酸イソプロピル	ラットの雄に対し閾値のある発がん性あり指針は策定しないが、リスク評価を実施予定(H23年12月ばく露作業報告対象物質告示)	2-アミノ-4-クロロフェノール(混水)	H24指針公示
平成21	2009	2, 4-ペンタンジオン(アセチルアセトン)	ラット、マウスともに発がん性なし	2-メチル-1-プロパノール(イソブタノール)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成22	2010	アクリル酸	ラット、マウスともに発がん性なし	2-アミノエタノール(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成23	2011	メチルアミン	ラット、マウスともに発がん性なし	ジフェニルアミン(混水)	ラットの雌雄及びマウスの雄に対し閾値のある発がん性あり指針は策定しないが、リスク評価を実施予定(H25年12月ばく露作業報告対象物質告示)
平成24	2012	N, N-ジメチルアセトアミド	平成25年度第1回有害性評価小検討会で検討し、H25年10月指針公示	3-アミノフェノール(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成25	2013			4-tert-ブチルカテコール(混水)	平成25年度第2回有害性評価小検討会で検討し、ラットの雌雄及びマウスの雄に対し発がん性あり

(試験実施中・実施予定の物質)

報告予定年度	吸入試験		経口投与試験	
	対象化学物質名	対応状況等	対象化学物質名	対応状況等
平成25	2013	エチレングリコールモノエチル エーテルアセテート		
平成26	2014	○メタクリル酸2, 3-エポキシプロピル ○多層カーボンナノチューブ	4-クロロ-2-ニトロアニリン(混餌)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成27	2015	アクロレイン		
平成28	2016	アクリル酸メチル		
平成29	2017	メタクリル酸ブチル		
平成30	2018	2-ブロモプロパン		
平成31	2019	酸化チタン(ナノ粒子、アナターゼ型)		
平成32	2020	ブチルアルデヒド		